

樟彩

～ 岩田学園だより 2024年1月号 ～



目次	P
校長メッセージ	1
共通テスト壮行式・出発式	2
ボランティア委員会活動報告	2
部活動等結果	3
OB・OG戦	34
中3田中さん 甲種危険物取扱者試験に合格	4
岩田中学校・高等学校入試	5

3学期始業式の式辞より

校長 児玉 洋司

2024年1月1日、石川県能登地方で発生したマグニチュード7.6の地震、『令和6年能登半島地震』によって、多くの方々が被害を受けました。私たちがこのように、新たな学期の始まりを迎える喜びと同時に、被災された方々がこのような厳しい状況に直面していることは胸を痛めるものです。この地震により、生活の基盤が揺れ動き、多くの人々が大切なものを失ってしまい、その痛みと悲しみが現在も続いています。亡くなられた方々のご冥福と、被災地の方々の普段の生活への戻りが一日でも早く訪れることを、心よりお祈り申し上げ、ここに全員で黙祷を捧げます。

不安や悩みは、誰にでも訪れるものです。しかし、それは人の成長に必要な試練とも言えます。うまくいかないときに悲観せず、むしろその経験を通じて人生のこれからを考えることが大切です。明るく前向きな人は、その困難に立ち向かいながら努力を惜しまないもの。前向きな人は自らの信念を胸に、逆境に負けずに前進しています。

さあ、2024年がスタートしました。新しい一年を迎え、信念を胸に頑張りましょう。明るく、前向きに、そして努力を惜みず、学園生活を楽しんでいきましょう。そうすれば、困難があってもその先には成長と充実が待っています。“Your efforts now are a gift to your future self.”
今の努力は未来への贈りものです。

【ご家族の皆さまへ】

私たちは、古き良き岩田らしさが涵養していくような学校づくりに向かって突き進む所存です。そして、岩田英二先生の魂、そして同窓生の志を胸に刻み、職員一丸となって学園発展のため一層努力してまいります。どうぞ、今後ともご家庭と学校が、お子さまが未来に進むための両輪となりますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

あつという間の冬休みはいかがでしたか。暖かい食卓と笑顔に包まれ、大切な時間を家族や友達と共有できたことを願っています。

冬休みが過ぎ、新たな年を迎えると、多くの人が「時の過ぎるのは早い」と感じることでしょう。この3学期もまた、学園生活が慌ただしく過ぎていくでしょう。中学卒業、高校卒業や大学進学はあつという間にやってきます。時の流れに不安を感じる時は次のような姿勢で臨みましょう。

真剣勝負

人生は真剣勝負である。

だからどんな小さいことでも生命をかけて真剣にやらねばならない。もちろん窮屈になる必要は少しもない。

しかし、失敗することもあるなどと、呑気に構えてもいけない。

真剣になるかならないか、その度合いによってその人の人生は決まる。大切な一生である。尊い一生である。今からでも決して遅くはない。

毎日を真剣勝負で生きていこう。





共通テスト壮行式・出発式

進路担当 山月 秀夫

<壮行式>

1月12日(金)、大学入学共通テストの壮行式が大講義室で行われました。児玉校長より自身の経験を踏まえた熱いメッセージが送られ、その後、生徒を代表して漆間虎弥太さんが決意を述べました。後藤進路指導主任からの注意事項等確認の後、中川学年主任より暖かな言葉があり、36回生らしい壮行式となりました。

なお、今年も卒業生の皆さまから激励品をいただきました。ありがとうございます！

<出発式>

共通テスト当日(1/13)朝、恒例の出発式が盛大に行われました。在校生応援団の演舞、書道パフォーマンス、生徒会長から気持ちのこもった応援メッセージ等、生徒・保護者・職員全員で36回生を見送りました。



壮行式(前日)の様子



出発式(当日朝)の様子



ボランティア委員会活動報告

担当 草本 舜輔

以下は、ボランティア委員会副委員長・松崎吏世さんからの活動報告です。

1学期はあしなが学生募金、食糧難募金の活動を行いました。あしなが学生募金では参加人数55人、合計で318,202円集まりました。食糧難募金では合計12,134円集まりました。

2学期は学園祭でレモネードスタンドとバザーを行い、あしなが学生募金とウクライナ、イスラエル・ガザ支援募金、歳末助け合い募金も行いました。

レモネードスタンドでは29,887円、バザーでは50,110円、あしなが学生募金には29人の参加、合計275,036円、

ウクライナ、イスラエル・ガザ支援募金では合計8,398円、歳末助け合い募金では合計11,441円集まりました。

常時活動としてペットボトルキャップとコンタクトケースの回収を行いました。

1年間たくさんのご協力ありがとうございました。これからもボランティアへの積極的な参加をよろしくお願いいたします。

学園祭
レモネードスタンドの様子





12～1月の部活動等結果報告

第36回県高校競書展

硬筆の部

県知事賞 5-3 堀明彩美



第25回高校生小論文コンクール 奨励賞 4-3 川越 るり タイトル「私の夢」

囲碁・将棋部

1/7(日)

第3回大分県中学生将棋新人戦

B級 第2位 阿南充紀(2-2)

C級 第3位 上杉映希(2-2)

バスケット部(高校男子)

令和5年度

大分県高等学校新人バスケットボール大会
1/7(日)

1回戦 岩田36-46日本文理大学附属

もともと少ないメンバーから、まさかのケガ、帰省できない寮生…、最小5人での過酷な状況での試合となりました。

“スローペースに持ち込む”ために、DFは粘り強くじっくり、OFはとにかくゆっくりを皆で遂行。前半終わって23-24と理想的な展開。

後半も集中を切らさず皆で協力して、離れそうになってもくらいついていきました。最後は、勝負所でのシュートをことごとく外し、

悔しい敗戦となりました。課題は明確です。4月の大会でこの課題が改善できるように日々の練習に取り組んでいきます。保護者の方々の応援や送迎等のサポートに感謝致します。(顧問:野田大樹)

バスケット部(高校女子)

令和5年度

大分県高等学校新人バスケットボール大会
1/7(日)

1回戦 岩田44-83白杵

1回戦は白杵高校でした。今大会までにリーグ戦等で2試合を白杵高校と対戦し、100点差で負けたこともありましたが、

序盤は、DFからミスを誘い、10点差で前半を折り返しました。しかし後半から徐々に

相手のミドルシュートも決まり始め、最終的には体力差で点差を開けられました。しかし、過去の実績からみると大きく成長することができています。

4月の大会では、さらに成長を遂げた姿で試合に臨めるように日々の練習に取り組んでいきます。

保護者の方々の応援や送迎等のサポートに感謝致します。(顧問:牧野佳太)

バスケット部(中学男子)

令和5年度 全九州中学生バスケットボール
春季選手権予選

男子:1/21(日) 1回戦 岩田 45-30 杵築
2回戦 岩田 19-90 鶴崎

1回戦、練習でやってきたDFが機能し相手を前半9点に抑えることに成功。ベンチ全員が出場し、伸び伸びとプレーして快勝。2回戦、開始直後から圧倒され、前半を8点に抑えられました。技術・スピード・経験、全てが上の相手に伸び伸びとプレーされ完敗。

勝利の喜びと、圧倒的な完敗の悔しさを噛みしめた1日となりました。たくさんの保護者の方々の応援・サポートが力になりました。感謝致します。

(顧問:野田大樹)

OB・OG戦がありました ～テニス部・バスケットボール部・サッカー部～

<テニス部 OB・OG戦> 12/30(土)

12/30(土)に本校テニスコートにてOB&OG戦を実施し、現役部員7名と卒業生14人が参加してくれました。卒業生のなかには仕事の休憩時間に差し入れを持ってきてくれた方もいました。全員で一緒に練習をしたのちに、現役部員と卒業生の混合ダブルスや真剣勝負の団体戦、そして徐々にテニスをする人同士の親睦試合などを行い、保護者からの差し入れもいただき、あっという間の4時間でした。そのなかには、近況報はもちろん、現役生から進路についての相談をしたり、卒業生からテニスのアドバイスをしてもらったり、すごく充実した時間となりました。参加してくれた卒業生のみなさん、本当にありがとうございました。

参加してくれた卒業生は以下のメンバーです。

25三浦 26岡 27神田 30山本・河野・尾野 31久保

32菅野・山口 33佐藤 34薬師寺・山月・安部 35西田

(顧問:川元 威彦)

<バスケット部 OB・OG戦> 12/29(金)

コロナあけのOB&OG戦、12回生から卒業したての35回生までの25名が集結してくれました。

最初はOB・OG・現役が混ざっての交流戦、最後に高校生vsOB,OGで模範試合(?)を行いました。

OB&OGが様々なアドバイスをしてくれました。ありがたいことです。

試合後は、部室、体育館内、女子更衣室、体育館外回りを全員で大掃除。1年間の活動を終了しました。

2024年も、『応援されるチーム』『勝つ資格のあるチーム』を目指して活動していきます。(顧問:野田 大樹)



〈サッカー部 OB・OG戦〉1月2日（火）

「初蹴り」

毎年の恒例行事ではあるが今年が中学入試が1日早く実施される関係でこの初蹴りも自動的に1日早く開催。コロナ制限が緩和されたことや一部のOB・OGがこの会を盛り上げるために呼び掛け活動に力を入れてくれた成果もあり、OBとOGで70人近くが集まるという驚きの賑わいで、新年早々からとても楽しい時間を過ごすことができました。中には、社会人生活が長く運動不足のためにプレーを遠慮するOBOGもいましたが、40歳越えのOBと13歳の中1が思い出

の詰まったグラウンドで一緒にプレーをしている姿を感動しながら眺めていました。現役男子はOBと、現役女子はOGとそれぞれ本気の戦いを繰り広げていましたが、正直なところ私自身はたくさんのOBOGとの話に夢中で試合の内容が頭に入ってきませんでした。このように、過去最高の盛り上がり記録（記憶？）した初蹴りは、昼過ぎまでみんなでサッカーを楽しみ、その後は翌日の入試に向けて4号館と5号館周りを中心に清掃を行い終了しました。年明けの忙しい中でも参加してくれたOBOGのみなさんに心から感謝です。また来年、笑顔で会いに来て下さい！（顧問：野村 哲也）



テニス部



バスケットボール部



サッカー部

中学3年田中公也さんが「甲種危険物取扱者」試験に合格しました ～大分県最年少合格です！～

1月23日（火）ご家族、校長、教頭、テレビ全局（OBS, OAB, TOS, NHK）、大分合同新聞が見守るなか、一般財団法人消防試験研究センターによって、本校中学3年生の田中公也（ともや）さんが「甲種危険物取扱者」免状交付式にて表彰を受けました。

甲種危険物取扱者とは、消防法で指定された第1類～第6類全ての危険物を取り扱うことができる国家資格で、甲種、乙種、丙種のうち甲種危険物取扱者が最も上位の資格となります。ガソリンスタンド、ビルメンテナンス、危険物の運送会社、化学工業、製薬会社、医薬品メーカー、化学製品メーカーなど様々な職場でこの資格を生かすことができ、特に大量の薬品を使う工場などで重宝され、6ヶ月以上の実務経験があれば、危険物を扱う多くの職場で選任が求められる「危険物保安監督者」になることもできます。この甲種を中学生で取得したのは大分県では『初』で、九州でも（14歳以下では）『2人目』の快挙です。

田中さんは普段はとても温厚で誰にでも優しい一面をもつ一方で、自分が決めたことには寝食も忘れて集中して頑

張る気概も持ち合わせています。読書が大好きで、学校の図書室にもいつも通っています。ここからは田中公也さん本人の言葉です。「ものすごく頑張ってきたので、この合格は飛び跳ねるぐらいとても嬉しいです。甲種は乙種よりもすごく難しかったです。化学は昔から好きで、知識がないと危険ですし、母の勧めもあり小学生の頃から勉強してきました。将来の夢はまだ決まっていないので、これから見つけたいです。この資格を生かすためにも理系の大学に入り、有機化学の勉強や乾燥剤に関する実験などをしたいです。自分は資格よりも知識の方が大切だと思いますが、それでもこの資格をとって自分に自信ができました。今日はありがとうございます。」

夢中になれる分野に邁進できるのも中高一貫校ならではの環境かもしれません。やりがいを感じながら、責任ある仕事を任される貴重な人材として社会で活躍できるよう、今後の成長にますますの期待を寄せるとともに、岩田学園での充実した学校生活を満喫してもらいたいと思います。

（クラス担任：河野 智治）





令和6年度岩田中学校・高等学校入試について

事務局長 末松 茂

令和6年1月1日、正月の午後4時10分頃、能登半島震災が発生しました。マグニチュード7.6、最大震度7の地震は能登半島の地下10km程のところで発生し、津波警報、大津波警報も発せられ、大変な被害が発生しました。震災によりお亡くなりになった方々や被災された方々に対し、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

翌2日、羽田空港において日本航空機と海上保安庁機の航空機事故がありました。こちらも衝撃的な事故でした。日本航空機側の乗客、乗務員全員無事脱出は非常に良かったのですが、海上保安庁機側は能登半島震災に物資を輸送するために準備していたということを知ると、心が痛みます。

この長い2日間を経過し、1月3日、例年より1日早い日程で、令和6年度岩田中学校入学試験が実施されました。入試自体は、穏やかな天気に恵まれ、無事終了することができました。

岩田中学校入学試験志願者数は291名で、大分県内からの出願者が279名、大分県外からの出願者が12名でした。私立中学校の入試日程がばらけたこともあり、前年より46名の増加となりました。

合格者数は、200名でした。合格者の平均点は、右の表のとおりです。近年は出題傾向を変更し、大学共通テストを意識して、知識だけではなく、思考力や判断力、表現力等も測ることを念頭に、合格者の総点平均の目安を60%として出題していましたが、今回は62.2%とほぼ想定通りとなりました。

結果として、合格者平均点は前年度比で17.2点下がりの186.7点(300点満点)となりました。各教科別に見ると、国語△17.3点、算数-3.1点、理科+0.2点、社会+3.0点と国語の得点が大幅に減少しました。合格者最低点は、昨年度の138点から2点上がった140点となりました。

岩田高等学校APU・立命館コースの入学試験は昨年11月2日の帰国子女入試からスタートしており、既にインド、ベトナム及びウズベキスタン等からの帰国子女生4名の合格が決まっています。新型コロナウイルスの影響でここ数年は実施できておりませんが、9年前から海外子女教育振興財団主催のアジア地区日本人学校説明会ツアーに参加してきたため、一定数の帰国子女の入学者を迎えることができるようになりました。

1月16日(火)には、推薦入試を実施しました。高校の出題スタイルも、読解力や表現力を求めるようにしています。合格者は11名

となりました。

高校入試は今後2月1日(木)の一般・前期入試、3月20日(水)の一般・後期入試を残しています。

APU・立命館コースの入学者は30名程度を予測し、帰国子女や海外からの留学生の受け入れを含め国際感覚を磨くに相応しいクラスを目標にしていますが、令和6年度入試では若干入学者数を減らすことになりそうです。そうした中でも、帰国子女や留学生が集まってくるとは、このコースの魅力と共に生徒寮の存在も大きいと思われる。

寮生活では、生活習慣のみならず学習習慣も身につけ、自立に非常に有効と言われております。

生徒寮では、随時入寮受付を行っております。女子寮は定員がごさいますが、通学生の皆さん、寮生活を体験してみても如何でしょうか。

【令和6年度 中学入試結果】

◎志願者数・合格者数

志願者数	291名
合格者数	200名

◎一般入試 合格者教科別平均点

国語	51.4点
算数	61.7点
理科	38.7点
社会	34.9点
合計	186.7点

合格者最低点	140点
--------	------



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

**能力の差は小さいが
努力の差は大きい**

脚力尽くる時、山更に好し。
脚ける未来へ、全力でサポートします!



大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校